

県内外の3社協に 募金計20万円贈る

岐阜信金

岐阜信用金庫は、役職員から寄せられた計20万円を「ぎふしん愛の募金」として、県内外の三つの社会福祉協議会に贈った。

同募金は、1992年度から支店を置く地域の社会福祉協議会に毎年寄付を続けている。例年は役職員の募金のほか、街頭募金や同金庫主催のイベント来場者の募金を寄付しているが、2020年度分は新型コロナ



奥村順一理事(右)から目録を受け取る島塚英之常務理事＝岐阜市都通、市社会福祉協議会

ナウイルスの影響で役職員のための募金を渡した。

岐阜市都通の市民福祉活動センター内にある市社会福祉協議会で寄贈式があり、同金庫の奥村順一理事、営業戦略部長が同協議会の島塚英之常務理事に10万円の目録を手渡した。奥村理事は「少額ではあるが、地域の社会福祉に役立ててほしい」と述べた。島塚常務理事は「コロナ禍でも途絶えることのない寄付に感謝したい」と話した。

同金庫はほかに、県社会福祉協議会と名古屋市社会福祉協議会に5万円ずつ贈った。今回を含め、ぎふしん愛の募金による累計寄付額は1億5700万円となった。(山本貴史)